

けがき式変位計 自社制作承ります！！

現場に合ったオーダーメイドで作成可能
自社製作なのでコストを抑えやすい
架台付きで水没のリスクを徹底排除

けがき式変位計は、建物の位置変位や免震装置の動きを正確に測定するために使用されるアナログ測定装置です。免震建物の長期的な安全性を確保するために、定期的な位置測定が必要となります。この測定器は、建物や装置がどの程度動いているかを、細かな線刻み（けがき）によって正確に記録します。

特徴と利点

- 高精度の測定：建物の微小な動きや変位を細かく記録し、変位量を視覚的に確認できます。地震後や定期点検で使用され、建物の安全性を把握するために重要です。
- シンプルで堅牢な設計：アナログ構造のため、電源が不要で、複雑な操作を必要としません。頑丈な作りで、耐久性が高く、長期間にわたって信頼性のある測定が可能です。
- 定期的な位置記録：建物の動きを定期的に記録することで、長期的な安全性を管理できます。変位が蓄積することで異常を早期に発見することができます。

使用例

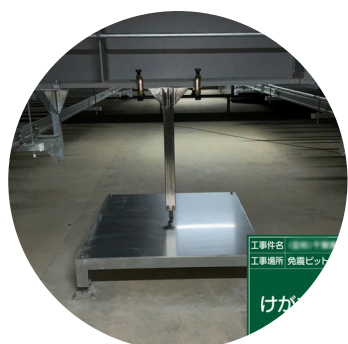
けがき式変位計は、このような状況で使用されます

- 地震後の点検：地震後に建物がどの程度動いたかを測定し、免震装置が正常に機能しているかを確認します。
- 定期的な位置測定：建物が正常な位置を保っているか、定期的に測定して異常の有無を確認します。
- 長期的なメンテナンス：建物の位置変化を長期的に記録し、経年変化や外的要因による影響を管理します。

けがき式変位計の種類(取付実績)



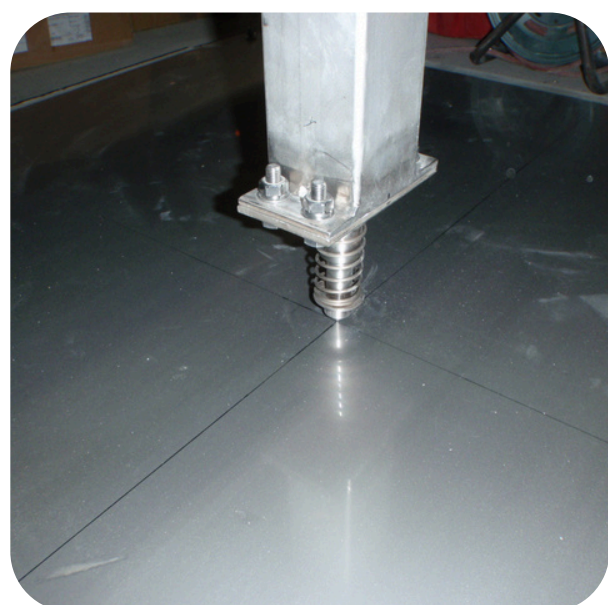
天井アンカー付け



H鋼ブルマン付け



取付ピース付け



けがき針拡大

けがき式変位計(梁横付け)



建物位置測定をもっと知りたい方はこちらをクリック